

『伏見区総合庁舎整備』ワークショップ通信

第0号 平成19年11月11日

発行：京都市区政推進課、伏見区役所総務課、株式会社 京伏水

京都市では伏見区総合庁舎の整備にあたり、区民の皆様に親しみやすく利用しやすい区役所にするため、区民の皆様と新総合庁舎を考える場として11月から3月まで、計4回のワークショップを開催します。

ワークショップでは、参加者の皆さんどうしの意見交換や交流を通して自由な発想を出していただき、行政と区民のパートナーシップにより、区民の皆様に永く愛される総合庁舎を一緒に作っていきましょう。

ワークショップスケジュール(全4回開催)

第1回 「新総合庁舎案をのぞいてみよう」

平成19年11月11日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

第2回 「新総合庁舎を語ろう」

平成19年11月25日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

第3回 「新総合庁舎を楽しもう」

平成19年12月15日(土)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

第4回 「設計図面で確認しよう」

平成20年3月23日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

本日のプログラム

13:30 受付

14:00 開会の挨拶・紹介

14:10 新総合庁舎整備の経緯説明

14:25 ワークショップの説明

14:30 新総合庁舎整備提案の概要説明

14:50 参加者による模型、CGの閲覧

15:00 ワークショップ「整備案についてのディスカッション」

15:30 グループ発表

15:45 ファシリテーターのまとめと講評

16:00 閉会

●ファシリテーターとは？

参加者の話の流れや状況を見ながら、実際にプログラムを進行していく人のことです。

●ファシリテーターは

奈良磐雄 京都造形芸術大学教授

ワークショップとは

ワークショップの語源は職人や芸術家の共同工房のことです。
まちづくりの場面では、参加者が同等の立場で知恵や創意を出し合い、共同を通して「もの」や「こと」を創造していく活動や場を指します。

ワークショップの4つの原則・1つのルール

- **聞き上手** …皆さんの発言に耳を傾けましょう
- **話し上手** …発言は1～2分程度にしましょう。
- **相互理解** …自分とは異なる考えを理解しましょう。
- **同等の立場** …肩書きをはずし、一人ひとり同等の立場で話しあいましょう。
- **ルール**
 - ・付せん紙1枚につき1つの項目を記入しましょう（簡潔に）

ワークショップの展開は…



まず、各テーブルで、テーマについてグループごとに議論します。



そして発言の内容を簡潔に付せんに記入し、大きな項目ごとに整理・分類します。



グループごとに発表者を決め、その発表者がグループを代表して、それぞれの意見を発表します。